

# 令和8年度 小樽市立西陵中学校 経営方針

## I 教育目標

自ら学び 人とつながり ともに未来を創る

【目指す生徒像】

- 1 **自ら**考え、判断し、行動する生徒（自立）
- 2 自他のよさを**認めあい**、**高めあう**生徒（共生）
- 3 よりよい社会の創造に**挑戦する**生徒（創造）

## II 令和8年度の重点目標

主体的な生徒の育成

## III 経営の基本的な考え方

【目指す学校像】

- 1 自分の成長を実感できる学校（自立）
- 2 同じ目標に向かって成し遂げる学校（共生）
- 3 未来に向かって挑戦する学校（創造）

教育理念や教育方法を巡って、「不易」と「流行」という言葉をよく聞く。「不易」とは、いつの時代にも変わらない不変の原理であり、「流行」はその時代に求められる必要な力である。

今の時代に照らし合わせて考えたとき、グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつあり、こうした社会の中で必要となるスキルは変化し、学び方についても更新が必要となっている。一方で、社会の中で生きていく、人と人とのつながりをはじめとした人間性については変化するものではなく、逆に変化が激しい社会であるからこそ、本質を見極める確かな目と感性を磨き、社会を担う一人の人間としての力を育むことが必要である。

このような社会であることを踏まえ、令和8年度の西陵中学校は、授業や行事、部活動などあらゆる場面において主体的な生徒の育成を目指して教育活動を推進していくことで、「目指す学校像」の実現に迫る。

【目指す学校像を創る教師像】

- 1 教育目標の実現に向けて歩み続ける教師（自立）
  - 自ら進んで学び続ける【向上心】
  - 謙虚で、礼儀正しい【人間力】
- 2 生徒のよさを引き出し、成長を支える教師（共生）
  - 生徒の成長や進歩を喜び、生徒の心の痛みに寄り添う【共感力】
  - チーム西陵中の一員として、協力して取り組む【組織力】
- 3 持続可能な社会の担い手の育成を目指す教師（創造）
  - 豊かな学びの場を創出する教師【創造力】
  - 得意を生かし、学校課題に挑戦する教師【挑戦心】

## IV 経営の重点

これまで築いてきた小中一貫教育の理念の下、西陵中学校区9年間の体系的・系統的な学びと地域協働による「学びの場」の設定等、社会に開かれた教育課程を編成し、目指す生徒の姿の実現を図る。

### 1 学びの質の向上と授業の転換

- 資質・能力を明確にした教育課程の編成
- 「主体的・対話的で、深い学び」の確立

### 2 自主的・自律的な学習習慣の定着

- フォーサイトを活用したプランニング能力の育成
- 時間や計画を意識して行動するタイムマネジメント能力の育成

### 3 生徒指導の4つの視点を基盤とした学級・教科経営

- 「自己有用感の感受」「共感的な人間関係の構築」「自己決定の場の設定」「安全・安心な風土の醸成」に努める。
- 子どもの自発的な成長を支え、自己肯定感や課題解決力を育むことで、自治的な集団作りを進める。

### 4 地域に貢献する人材の育成

- 道徳や学級活動と学校行事・地域行事との関連を図り、保護者・地域と連携した学びの場への積極的な参加を促す。
- 各教科等において、地域人材を積極的に活用し、自分の住む地域への関心を高める。

## V 具体的な方策

### 1 学びの質の向上と授業の転換

#### (1) 学力向上

- ① 学力向上プランの実践及び検証
- ② 校内研修の充実
  - ・生徒が主体となる ICT 機器（タブレット端末）の効果的な活用
  - ・課題探求学習による表現力の育成と発表（意見交流も含む）場面の設定
  - ・小学校との繋がりを意識した授業のあり方
- ③ 教員の授業力向上
  - ・主体的で対話的で深い学びに向けた授業実践
  - ・個別最適な学びと協働的な学びに向けた授業実践
  - ・生徒の意欲に結びつく「めあて」、「振り返り」の設定
  - ・小学校との接続を意識した授業展開の工夫
- ④ 小中9年間を見通した学力の向上
  - ・適切な分析による「算数・数学科」の課題把握と指導の焦点化
  - ・加配を活用した授業方法の工夫と改善
- ⑤ 中1ギャップの解消に向けた小学校との授業交流
  - ・小学校への乗り入れ授業、中学校での体験入学の実施
  - ・相互の授業参観や公開研への参加

- (2) 学校行事や総合的な学習の時間の活性化
- ① 学んだことが活用できる学校行事や職場体験の工夫
    - ・満足感や達成感等が実感できる行事等の企画や指導
    - ・行事等におけるタブレット端末活用の工夫
  - ② 行事等を通し、所属感を高め、他を尊重する態度の育成
    - ・個や集団の良さを認め、高めあう態度の醸成
    - ・キャリアパスポートを活用した取組や成長の見える化
  - ③ 課題探求学習を柱とした総合的な学習の時間の工夫
    - ・小学校との連携を図った年間指導計画の作成
    - ・課題探究学習による各教科との横断的な取組
- (3) 体力向上
- ① 体力向上プランの実践及び検証
  - ② 小中9年間を見通した体力の向上
    - ・小学校への乗り入れ授業
    - ・適切な分析による課題の焦点化と指導
  - ③ 日常の基礎体力作り
  - ④ 体育的行事の有効活用
- (4) 健康・安全教育の充実
- ① 小学校、地域、消防署と連携した防災教育の推進
    - ・地震、土砂災害、台風、津波被害等への対応
  - ② 安全教育の徹底
    - ・危険予測、回避能力を高める指導
    - ・登下校指導、tetoruの効果的な活用
    - ・外部機関との連携による効果的な指導
    - ・教科指導と連携した効果的な指導
  - ③ 健康教育の推進
    - ・性教育、薬物乱用防止等に関わる指導の充実
    - ・ガイドラインに基づく生徒の主体性を重んじた部活動の推進
  - ④ 命の重みを考えさせる場面の設定
- (5) 読書活動の推進
- ① 朝読書及び読書ゆうびんの取組、新聞を活用した授業の推進
  - ② 学校図書館を活用した教科経営の充実
  - ③ 小樽市立図書館との連携及び読書活動の推進
  - ④ 生徒会図書委員会の活動の充実

## 2 自主的・自律的な学習習慣の定着

- (1) 計画的な学習習慣の定着
  - ① 家庭学習の推奨
    - ・家庭学習におけるスマイルネクストの活用
    - ・フォーサイトを活用した家庭学習の振り返り
  - ② 英語検定試験等の資格取得の奨励
- (2) 学級経営・教科経営における計画的な働きかけ
  - ① 教科の特性を踏まえた家庭学習の方法の指導
  - ② 生徒の実態を捉えた意図的・計画的な働きかけ
    - ・小学校とのつながりを意識した学び直しを促す指導
    - ・進学に向けた学習時間や学習方法の確立
- (3) 生活習慣の改善
  - ① 食育の充実
    - ・外部講師による指導、栄養管理ができる生徒の育成
  - ② スマホやゲーム等の使用と健康管理に関する指導の推進
    - ・外部講師による講話の他、道徳や学活との関連強化
    - ・「おたるスマート7」意識した生活指導
    - ・生徒によるフォーサイトを活用した計画的な生活と教育相談を活用した指導
- (4) 生徒会活動を中心とした学習意欲の向上
  - ① 学級活動を軸とした生徒会活動の充実
    - ・より良い学習環境の実現に向けた取組の推進
    - ・文化委員会を中心とした充実した学習会の企画
  - ② 学校運営協議会と連携した大学生とのトークセッションを通じた意欲付け

## 3 生徒指導の4つの視点を基盤とした学級・教科経営

- (1) 生徒指導の充実
  - ① 組織的な生徒指導による共通理解と共通行動
    - ・全教育活動を通じた生徒と教員の信頼関係の構築
    - ・観察、教育相談等を通じた生徒理解の推進
    - ・具体的な指導の方策提示と全教員への共有
  - ② 自己指導能力の育成
    - ・発達支持的生徒指導と課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）の充実
  - ③ 保護者、関係機関との連携強化
- (2) 特別支援教育の充実
  - ① ユニバーサルデザインを意識した教室環境や授業作り
  - ② 合理的な配慮に基づく支援の充実
    - ・個別の指導計画、支援計画に基づく保護者との連携
  - ③ 特別支援コーディネーターとの連携・充実
    - ・特別な配慮を必要とする生徒へのきめ細やかな支援体制作り

- ④ 校内支援委員会の機能向上
- ⑤ 校区小学校との交流推進
  - ・授業や児童生徒交流の効果的な活用
- ⑥ 通級生徒の情報交流
- ⑦ 関係機関との連携と活用
- (3) 学級経営を基盤とした「マナー」「規範意識」の定着
  - ① 当たり前の生活の指導
    - ・「挨拶」「身だしなみ」「言葉遣い」「生活リズムや学習習慣」の定着
  - ② 学級活動を通じた生徒自身に考えさせる指導
    - ・学級の実態を捉えた意図的・計画的な学活の活用
    - ・あらゆる場面（朝・帰りの会、給食、集会、行事）での効果的な指導
    - ・意図的、計画的なリーダーの育成
  - ③ 小学校とのつながりを意識した生活・学習規律
    - ・中学卒業後のゴールを見据えた、発達段階に応じた小中一貫による指導
- (4) いじめ、不登校への対応
  - ① 自己有用感と学級への所属感を高める指導の推進
    - ・学級活動や学校行事による他者との協働による成就感や満足感の醸成
  - ② 「ほっと」などのツールを活用した教育相談の充実と情報共有
    - ・担任による教育相談の他、管理職、養護教諭による教育相談の充実
    - ・毎週開催される生徒指導委員会での生徒交流
  - ③ 新たな不登校を生まないための「わかる授業」の工夫
    - ・「選択」の場面を設定することで、主体的に学習の臨む授業づくり
  - ④ 登校を支援し、学びを保障する体制作り
    - ・加配を活用した校内支援体制
  - ⑤ 保護者、スクールカウンセラーや外部機関との連携強化
  - ⑥ 研修会や小樽市の取組への積極的な参加

## 4 地域に貢献する人材の育成

- (1) 特別活動の充実
  - ① 生徒の「キャリア教育」を促す教育活動
    - ・目標達成を目指した取組の工夫と振り返りを大切にした教育活動
    - ・職場体験学習を生かした望ましい勤労観の醸成
    - ・地域と連携した行事を通じた、地域貢献に対する意識の醸成
  - ② 小学校と連携したキャリアパスポートの活用

(2) 道徳教育の充実

① 道徳の授業研究

- ・生徒の実情を踏まえ、成長を促す授業の工夫
- ・「考え、議論する道徳」の授業作り

② ふるさと教育の推進

- ・小学校や町内会等との連携による地域行事への参加
- ・キャリア教育や総合的な学習の時間との関連付け

③ 情報モラル教育の充実

- ・人権意識の高揚、規範意識の形成、危険回避能力の育成

(3) 社会につながる人間性の涵養

① 社会に出ることを想定したルールやマナーを身に付ける指導

② 地域の行事、ボランティア等を通じた社会貢献活動

③ 地域の教材の積極的な活用